

おうちで ずっと 暮らしたい



これから皆さんを守る在宅医療・救急医療

医療や介護が必要となっても、できるだけ住み慣れたおうちで暮らしたいと願う高齢者の思いをかなえたい。治療を受けながら安心して自宅で療養生活を送れるよう、医師、看護師、ケアマネジャーなどが連携してご本人やご家族をサポートします。患者の心身の状況を総合的に把握し、いざという時どうするかについて、あらかじめ共通の意識を持ちながら、在宅医療と救急医療が皆さんの想いを支えます。

日時 平成**28**年**3**月**21**日 (祝)
午後**1**時**30**分～**4**時 (午後**1**時開場)

会場 烏山区民会館集会室(烏山区民センター3階)

所在地：世田谷区南烏山 6-2-19
交通案内：京王線 千歳烏山駅東口徒歩 1 分


シンポジウムの内容

- ・太田 祥一氏 (恵泉クリニック院長 東京医科大学兼任教授)
一 おうちですっと暮らすための在宅医療とは？ 救急医療とのかかわりは？
- ・及川 健二氏 (成城消防署救急技術担当係長)
一 最近の救急車はどうなっているの？
- ・酒井 美知子氏 (メディカル・ハンプ訪問看護ステーション所長)
一 おうちですっと暮らすための準備は？

参加費 無 料 **定員** 先着**100**名

受付開始**2**月**15**日(月)～ 受付時間**8**～**21**時

電話またはFAXで「**せたがやコール**」へ

 **電話 03-5432-3333**
FAX 03-5432-3100

※FAXの場合は、シンポジウム名「おうちですっと暮らしたい」、住所、氏名、電話番号を明記してください



